

事業者向け放課後等デイサービス評価表 (児童発達支援事業所 ばんびーにこくらみなみ)

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	改善目標、工夫点など
環境・体制整備	①	設備は利用定員に応じて適切であるか	<input type="radio"/>			子ども1人あたり4.14㎡の床面積を確保、静養や個別療育のためのスペースも設けています。
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			作業療法士免許を持つ機能訓練担当職員、教員免許を持つ児童指導員と保育士を常時3人以上配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			玄関前のスロープ、幼児用すり付きトイレ、段差のないフラットなスペース等、身体障害児の利用にも対応できる設備を完備しています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			定期的なミーティングに加えて各職員が必要時に話し合いを行うことで、業務改善に努めています。
	⑤	アンケート調査を実施して保護者の意見等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			定期的にアンケート調査を実施。また送迎時に保護者との情報交換を行い、職員間で共有しています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	<input type="radio"/>			今後、ホームページ上にて定期的に公表していきます。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	今後、第三者の評価・意見を取り入れ、業務改善を行っていきたくと思います。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		<input type="radio"/>		各職員が様々な分野の研修に参加しています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、個別支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>			保護者へのアンケート調査や、送迎時の情報収集を行ったうえで、その内容を反映させた計画の立案を行っています。
	⑩	子どもの発達課題に沿った療育（個別リハビリを含む）が提供されているか	<input type="radio"/>			常に療育の中での観察を通じて評価を行い、その都度課題の抽出、訓練の立案・提供を行っています。また、児童の成長過程や課題を日々の連絡帳に記載しています。
	⑪	子どもの持つリスク（身体的、精神的）に十分に配慮した個別療育が行えているか	<input type="radio"/>			リスクマネジメントを十分に行ったうえで療育の提供を行っています。
	⑫	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			職員間のミーティングを通して、活動の立案を行っています。
	⑬	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	<input type="radio"/>			月の予定表を作成したうえで、様々なプログラムの提供が行えるよう職員間で意見交換・修正しています。
	⑭	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			状況に応じて、プログラムの設定しています。休日、長期休暇中は公園への外出などのイベントを設定しています。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>			計画立案時から個別・集団療育の整合性をもたせつつ、日々の子どもの様子に合わせて活動提供の方法を調整しています。
	⑯	支援開始前・終了後に職員間で打ち合わせを行い、支援内容の確認や振り返り内容を職員間で共有しているか	<input type="radio"/>			支援開始時・終了後に、その日のスケジュールの確認と、日々の振り返りを行っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>			個別・集団療育経過記録を用いて日々の支援内容の検証・改善に努めています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>			6ヶ月に1度のモニタリング、個別支援計画作成のほか、必要に応じて個別支援会議を実施し、支援の見直しを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか	<input type="radio"/>			個別・集団療育とともに、多彩なプログラムを準備し、日常生活・コミュニケーション能力、社会性の向上に注力しています。

	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	改善目標、工夫点など	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○			児童発達管理責任者や、子どもの状況をよく把握している職員が参画しています。
	㉑	保育・幼稚園との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			保護者、園との連携を図り、書面を通じて情報共有、連絡調整を行っています。
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			児童発達支援・放課後等デイサービスを併設しており、継続して利用して頂いている児童が多く、情報共有を綿密に行える状況にあります。
	㉓	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	今後必要に応じ、積極的に参加を行っていきます。
	㉔	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳を利用して家庭・事業所での様子を伝えあげています。また、送迎時にも時間の許す限りコミュニケーションをとっています。
	㉕	保護者に対する支援（ペアレントトレーニング等）を行っているか		○		保護者からの相談に応じて支援を行っていますが、今後は積極的な情報発信の機会を設けていきたいと思えます。
保護者への説明責任等	㉖	運営規定、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時や保護者からの質問があった際は丁寧な説明を心がけており、その都度ご理解をいただいています。
	㉗	保護者からの子育ての悩みに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談があった際は必要な助言や支援を行っています。
	㉘	保護者会の開催等、保護者同士の連携を支援しているか		○		今後、保護者会の開催などを検討していきます。
	㉙	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情担当者を配置し、その都度対応を行っています。
	㉚	定期的なホームページ更新等を行い、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			法人ホームページを定期的に更新し、活動概要などの発信を行っています。
	㉛	個人情報に十分注意しているか	○			施錠できるロッカーにて厳重に管理しています。
	㉜	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			必要に応じて送迎時の保護者への対応、面談等の時間を設けています。
	㉝	地域に関われた事業所運営を行っているか	○			法人主催の研修会の実施等を行っています。
非常時等の対応	㉞	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		各マニュアルを作成していますが、今後は保護者への周知を行っていきます。
	㉟	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に訓練を実施しています。
	㊱	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			各研修会に参加後、伝達講習を行い全職員への周知に努めています。
	㊲	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、個別支援計画に記載しているか	○			現時点で身体拘束が必要な利用者はおらず、万が一不穏が生じた場合は職員がついて安全の確保に努めています。
	㊳	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		医師との連携の機会は限られていますが、保護者からの聞き取り内容を全職員に周知し、個別に対応を行っています。
	㊴	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		事例報告書をファイリングして、いつでも閲覧できるようにしています。